

柳瀬川町内会会員各位

柳瀬川町内会会長
竹前栄二



防災訓練開催のお知らせ

初秋の候、皆様にはますますご繁栄の事とお喜び申し上げます。

日頃より町内会の運営につきましては、あたたかいご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。



8月22日に来襲した台風9号により、大排水側道路が冠水、急遽「予備ポンプ」の稼働準備をしましたが、数十年稼働実績がなく、対応に手間取り稼働が遅れました。市職員が駆けつけましたが人数が足りず、急遽町内会から応援（ずぶ濡れに成りながら作業をしてくださいました）を出して稼働することが出来ました。予備ポンプ（エンジンポンプ）は排水ホースを水門まで繋げる作業がとても大変（継手の重さ40～50キロ）で、多人数がいないと設置できません。

今回の防災訓練は、「予備ポンプ」の稼働訓練を行います。市の職員は災害時には人手不足となります。地元のメンバーで出来ることは行わなければ、被害は深刻になります。皆様の参加をお願いします。

記

訓練内容（別紙詳細）

- 1・ポンプの継手訓練。
- 2・呼び水注入訓練。
- 3・ポンプの稼働マニュアルの習熟訓練。
- 4・アルファー米の作り方、試食、配膳、
- 5・非常食乾パン配付。



- 1・日 時 11月20日（日曜日） 10時～12時
2・場 所 予備ポンプ場所

台風9号激しい雨の中での作業でした。

フランジを繋ぐ（16ヶ所締め付ける）

ずぶ濡れでホースをセットする有志（重い）



ボルトを繋ぐ作業



刻々と増水してくる



漸く1台が排水開始



危険水位を超えた、後50cmで越水



職員も必死で作業

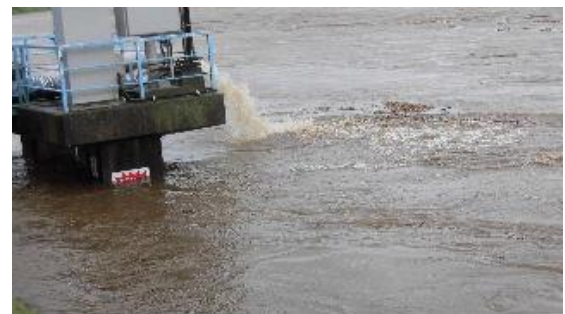


町内会有志もポンプに呼び水作業をする



ポンプ場の周りは冠水、長靴も潜る深さでの作業だった。

2台目稼働（要請から2時間半掛かった）



災害発生時、行政は人手不足となり、ポンプ稼働作業等に多くの人員を割くことはできない
「わが地域は自分で守る」それが被害を最小限に抑えることです。